

パブリックコメント意見募集の結果公表

帯広市 未来のための行財政推進プラン（原案）に対して、市民の皆様からご意見を募集しました結果について、ご意見の概要と市の考え方は下記のとおりです。ご意見をお寄せいただきありがとうございます。

寄せられたご意見等について検討した結果、パブリックコメントを踏まえた修正は行わず、今後の取組の参考とさせていただきます。

なお、市議会での意見等を踏まえて、所要の修正を行い、最終案としました。

【意見募集結果】

案 件 名	帯広市 未来のための行財政推進プラン（原案）		
募 集 期 間	令和 6 年 11 月 27 日（水）～ 令和 6 年 12 月 26 日（木）		
意 見 の 件 数 （意見提出者数）	1 件（1 人）		
意 見 の 取 り 扱 い	修正	案を修正するもの	0 件
	既記載	既に案に盛り込んでいるもの	0 件
	参考	今後の参考とするもの	1 件
	その他	意見として伺ったもの	0 件
意 見 の 受 け 取 り	持参		0 人
	郵送		0 人
	ファクス		0 人
	電子メール		1 人

【意見等の内容】

市民の意見の概要	件数	意見に対する帯広市の考え方
【2－（3）－② 複線型キャリアパスの拡充】 市民のために、情熱を持って行政の慣例にとらわれず新しい視点で仕事をしていたが、組織の壁が厚く力を発揮できずに退職した職員が複数いると聞いています。 短期間で異動するため、慣例や上司の判断内に留まり、市民と一緒に新しいやり方にチャレンジされる職員が少ないと感じます。職員が興味や情熱を持って、より良い市政のために市民とともに活動できるよう、職種や職場を選べるようにしていただきたい。 また、教育行政について、教育と子育て支援が分離している点など、市民にとってはわかりづらく、保護者が戸惑う場面も多くなっていることから、教育委員会制度の独立性は担保しつつ、学校風土を変えるために、教育委員会に民間を含めた子育て支援の関係者を配置するなど、教育現場変革の意志の見える人事を検討していただきたい。	1	【参考】 本市では、「帯広市人材育成基本方針」に基づき、職員が自治体職員としての多様なスキルが獲得できるよう、基本的には幅広い分野で知識・経験を得られるような人事配置を行っています。 一方、特定の分野で専門性を磨きたいと考える職員もいることから、職種や採用区分にとらわれず、能力や適性、本人の意欲等を踏まえ、職務内容をある程度柔軟に選ぶことができるよう人事制度の検討・見直しを適宜、行っていく考えです。 教育行政については、教育委員会と市の子育て支援担当部署が、個別の案件において必要に応じて連携して対応しており、引き続き連携を図っていきます。 また、帯広市立の学校では、コミュニティスクールの制度を活用し、市民の意見を学校運営に際しての参考とするなどしているところです。

【案件の最終案】

別紙のとおり